



R ザ・留萌生活



あなたを癒す 不思議なチカラ

こんにちは、ボクは留萌に住む友愛家の長男 ススムです。
ボクの家では、家族そろって夕食を囲むのが日課です。
ある日の夕食で、こんな話題がもちあがりまして。
そのときは、それが原因で、あんなことになるとは思いませんでした……。



友愛家、留萌を語る

留萌で食べる

家族 いただきます。
ミノル(父) モグモグ。いやあ、うまい。母さんの料理は、いつも最高だな。
かなえ(母) フフ、留萌の海で取れたハタハタの唐揚げよ。たくさん食べてね。
ミノル 留萌は、新鮮でうまい食べ物が多く食べられるのが魅力だよなあ。
爺 春はフキやギョウジャニンニク、夏はウニ。秋の旬はカボチャに落葉きのこと。冬の旬はカボチャの味覚はカズノコできまりだろう。かなえ 旬のものを食べられるのも留萌の魅力よね。
ススム うん、どれもおいしそう。ボク留萌で生まれて良かったな。

留萌で遊ぶ

はるか(姉) まあ、食べ物はおいしいんだけどね……。
ミノル なにが言いたいんだ？ はるか だって留萌って、遊ぶと

ころがないから楽しくないんだもん。それに流行の服だつて売ってないし、最悪。
ミノル そうかなあ、お父さんは留萌ってまんざらでもないと思っただけだな。
はるか どのへんが？
ミノル 留萌と言えは自然だろ。ススム うんうん。夏は海で泳げるし、川では魚釣りもできるよね。山で虫取りできるし、冬はスキーだってできるもんね。
はるか 子どもって、ほんとにノンキでいいわね。
かなえ ほらほら、ご飯が冷めちゃうわよ。

留萌で学ぶ

ミノル ところでススム、最近学校はどうなんだ？
ススム 楽しいよ。いま総合学習で『留萌のまち』のことを調べているんだ。
かなえ どんなこと？
ススム ぼくの班は、留萌の広報誌やインターネットで、港や高速道路のことを調べてるんだ。ミノル おもしろいことをやってるじゃないか。がんばれよ。

留萌で働く

はるか でも 港や道路って公共事業でしょ？ 不景気だから、この先どうなるかわかんないじゃない。
ミノル だから、はるかやススムが留萌でがんばって、留萌の夢をつなげていくんじゃないか。
はるか はあ？ 意味わかんない。
爺 ワシの若い頃には、ニシン漁で働き場がたくさんあったからな。身一つで暮らしていたんだけどなあ。
ススム ボクが大人になる前に、景気が良くなっていて欲しいな。

留萌で老いる

かなえ お爺ちゃんは調子どう？
爺 パークゴルフを始めてから元気100倍さあ。冬も体を動かしたいんだが、なんかないかのう……？
ススム だったら、ぶるも。冬でもいろんな運動ができるよ。
爺 おお、そうか。パークゴルフ仲間を誘って行ってみるかのう。かなえ 話は変わるけど、留萌でもひとり暮らしのお年よりが増えて来ているわね。
ミノル そういえば、最近、高齢者向けのサービスマンが増えているよな。
はるか アタシも学校帰りに福祉サービス関係の車をよくみるわ。
爺 ああいうサービスがはやっていくってことは、元気なじいさんやばあさんが減ったってことかのう。なんだか寂しいのう。
ススム 近所のお婆ちゃん、冬のお雪かきが大変なんだよって言うってた。
ミノル 留萌は坂が多いし、雪は

